

北海道内すべての中学生年代の
サッカーチーム指導者の皆さま

公益財団法人北海道サッカー協会第3種委員長 大石橋計幸
北海道中学校体育連盟サッカー競技専門委員長 小澤 宜史
北海道クラブユースサッカー連盟理事長 大年 貴之

JFA(公益財団法人日本サッカー協会)熱中症対策ガイドライン改正を受けて (通知)

日頃より、本協会(以下、HKFA)・両連盟事業へのご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、先月5月21日に改正されました標記ガイドラインについて、落雷事故防止に関する資料とともに過日皆さまに展開いたしました。昨夏、北海道でも危険な暑さとなった日のことをご記憶かと存じますが、間もなく暑熱対策が必要な夏の季節を迎えます。

落雷の恐れがある場合は、従来通りの対応となりますが、より一層細心の注意をはらってまいりましょう。

下記の通り、私たち3名も構成員であるHKFA第3種委員会で稟議決定した内容をお知らせいたします。

記

- ・まだお読みいただいていない指導者の皆さまは、以下3つの資料をお早めにお読みください。
熱中症対策ガイドライン (2024/5/21 改正版)
https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_guideline.pdf
熱中症対策ガイドライン改正概要 (イラスト付きスライド)
https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_guideline_amendment.pdf
サッカー活動中の落雷事故防止対策について (イラスト付きスライド)
<https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/rakurai.pdf>
- ・中学校体育連盟主催大会、クラブユース連盟主催大会のみならず、北海道内で行われるすべての第3種年代の公式戦において、またすべてのHKFA第3種登録チームのトレーニングマッチやトレーニング時においても必要な熱中症対策であることから、すべてのチームがWBGT計を所有し活動場所へ持参することが望ましいです。未所有のチームは今夏の暑熱時期を迎える前に可能な限りご用意いただきたいです。なお、購入せずとも、多くの中学校では共用WBGT計を所有していますので、借用方法等を事前に確認し有効活用してください。
予想最高気温が28℃超の日は、すべての活動場所にWBGT計がある環境の整備に努めてください。
【参考(目安)】 31≦WBGT…気温35℃以上、28≦WBGT<31…気温31~35℃、25≦WBGT<28…気温28~31℃
- ・第3種年代のほぼすべての大会で、雷の発生等の荒天時に後半を不実施と決定した場合、前半のスコアをもって試合成立とする、と開催要項に明記しています。暑熱対策においても同様の考え方をすることとし、予想最高気温が28℃超の日は、ピッチ上の地上約110cm(身長170cmの方であれば臍付近)の高さに設置し、黒球が日陰にならないように、1試合につき3回(以下①~③)、計測してください。
 - ①マッチミーティング時または試合開始60分前に計測 → 運営担当者、審判団、両チーム指導者で共有
31≦WBGT…中止(延期) 28≦WBGT<31…クーリングブレイク設定 25≦WBGT<28…飲水タイム設定
 - ②試合開始10分前に計測 → 運営担当者、審判団、両チーム指導者で共有
31≦WBGT…中止(延期) 28≦WBGT<31…クーリングブレイク設定 25≦WBGT<28…飲水タイム設定
⇒前半開始 ⇒前半開始
 - ③ハーフタイムに計測 → 運営担当者、審判団、両チーム指導者で共有
31≦WBGT…前半で 28≦WBGT<31…クーリングブレイク設定 25≦WBGT<28…飲水タイム設定
打ち切り ⇒後半開始 ⇒後半開始

以上

北海道内すべての中学生年代の
サッカー公式戦運営担当者の皆さま

公益財団法人北海道サッカー協会第3種委員長 大石橋計幸
北海道中学校体育連盟サッカー競技専門委員長 小澤 宜史
北海道クラブユースサッカー連盟理事長 大年 貴之

JFA(公益財団法人日本サッカー協会)熱中症対策の運用について (通知)

日頃より、本協会(以下、HKFA)・両連盟事業へのご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、先月5月21日に改正されました標記ガイドラインについて、落雷事故防止に関する資料とともに過日皆さまに展開いたしました。昨夏、北海道でも危険な暑さとなった日のことをご記憶かと存じますが、間もなく暑熱対策が必要な夏の季節を迎えます。

落雷の恐れがある場合は、従来通りの対応となりますが、より一層細心の注意をはらってまいりましょう。

下記の通り、私たち3名も構成員であるHKFA第3種委員会で稟議決定した内容をお知らせいたします。

記

- 各連盟や各地区FAの多くがWBGT計を複数所有していること承知しております。
HKFA「公益事業決算処理の手引き」27頁「サッカー用品購入可能品一覧」にも記載されている通り、WBGT計は消耗品としての購入が可能です。各地区FAの会計処理については、このHKFAの処理方法に倣っていると思われます。暑熱時期には、大会参加チームへWBGT計のご用意を促していただきつつ、事業費の有効活用もしていただき、すべての試合会場にWBGT計が行き渡るよう、ご手配をお願いいたします。
特に、北海道カブスリーグのように、HOMEチームによる運営のリーグ戦等で、MCまたはMCに代わる運営担当者が試合会場に不在の場合は、チーム所有のWBGT計が使用できる状況にあることを事前に確認していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。
- 暑熱対策が必要と予想される時期には、クーリングブレイクや飲水タイムを設定することができるよう、通常期よりも余裕をもったタイムスケジュールを設定していただきますようお願い申し上げます。
- コロナ禍においてはピッチ周辺に共用飲水ボトルを置くことができなくなり、気温に関わらずに、前半後半のおおよそ半分が経過した時点で飲水タイムを設定する状況になりました。その影響でしょうか、現在も同様に共用飲水ボトルを試合中のピッチ周りに置かないチームが多いと承知しております。勿論強制するものではありませんが、熱中症対策の観点からも、ご担当公式戦参加チームの指導者の皆さまと、機会がございましたら話題にさせていただきますようお願い申し上げます。
- 上位大会進出チームを短期間で決定するトーナメント方式の大会では、熱中症対策ガイドラインのSTEP3を講じて試合を実施することもあり得ると存じますが、慎重なご判断をお願いいたします。
- 各リーグ戦の開催要項には、代替日程を編成できずに全試合を消化できなかった場合、勝点率、得失点率等を利用して順位を決定すると明記されております。
よって、各リーグ戦の試合においては、 $31 \leq \text{WBGT}$ の場合は、試合実施を禁じます(STEP3を講じることは不要)。中止または延期、ハーフタイム時の計測でこの数値を超えた場合は、前半終了時点で試合成立、となります。

以上